

2019年3月期第1四半期 決算補足資料

2018年8月3日



(東証二部 9857)

連結決算概要	．．．	P. 3
品目別売上高	．．．	P. 4
業界別売上高	．．．	P. 5
連結貸借対照表	．．．	P. 6
連結業績推移	．．．	P. 7

(単位:百万円)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	前年 同四半期比	2019年3月期 業績見通し
売上高	6,512	7,606	+ 1,093	+ 16.8%	35,000
営業利益又は 営業損失(△)	△ 2	178	+ 180	—	1,100
経常利益	52	195	+ 143	+ 274.9%	1,100
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	120	+ 107	+ 853.0%	695

決算の概況

- 前期から続く生産設備の高稼働状況を背景に、各社の更新需要は堅調で、化学品製造業、鉄鋼製品製造業、船用機器製造業、電力会社を中心に販売が好調に推移し、前年同四半期比増収増益となりました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

品目別売上高

(単位:百万円)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	前年 同四半期比	構成比
工業用計測 制御機器	3,241	3,681	+ 13.6%	48.4%
環境計測・ 分析機器	526	610	+ 16.1%	8.0%
測定・検査機器	422	458	+ 8.5%	6.0%
産業機械	2,322	2,855	+ 22.9%	37.6%
合計	6,512	7,606	+ 16.8%	100.0%

増減要因

◆ 工業用計測制御機器

定期修理等の機器の更新需要が堅調に推移しました。また、生産性向上や省力化につながる生産設備の自動化や遠隔監視システムの提案を実施し、その結果、化学品製造業、機械製造業、船用機器製造業向けで各種センサー、情報通信機器の販売が堅調に推移しました。

◆ 環境計測・分析機器

法規制を背景とした水質や大気等の各種計測機器・分析機器の販売に取組み、その結果、化学品製造業、機械製造業、プラント・エンジニアリング向けで水質・ガス・大気分析計、粉塵防止システムの販売が増加しました。

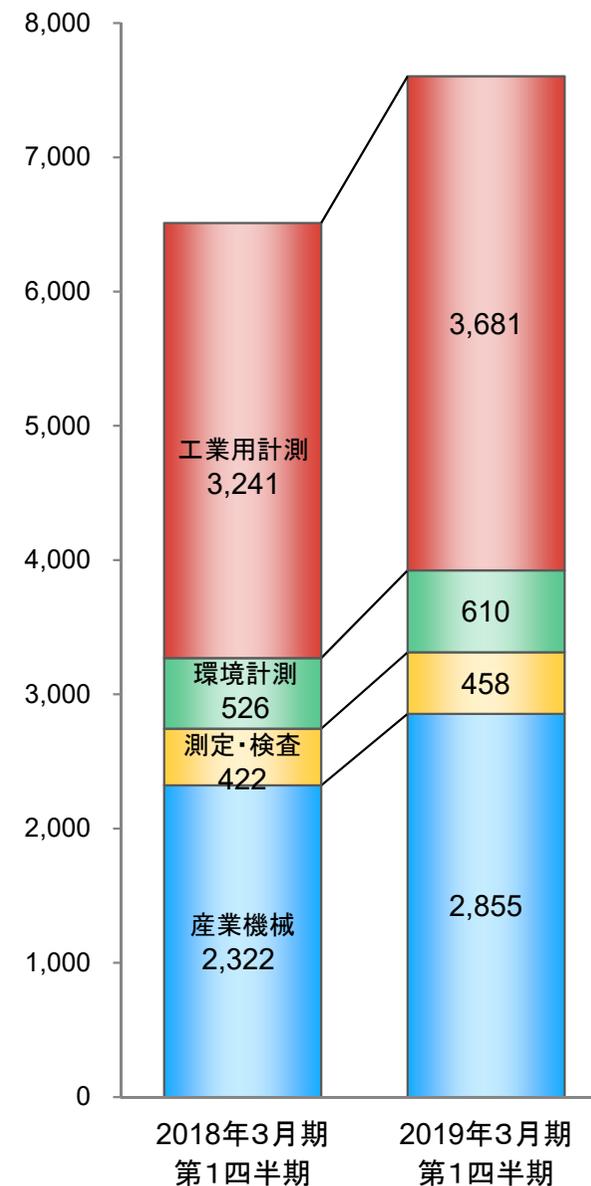
◆ 測定・検査機器

生産設備の保守点検に使用される保安メンテナンス機器、品質向上やトレーサビリティ強化につながる各種検査機器の販売に取組み、その結果、自動車部品製造業向け精密測定機器や化学品製造業向け生産設備用大型検査機器の販売が増加しました。

◆ 産業機械

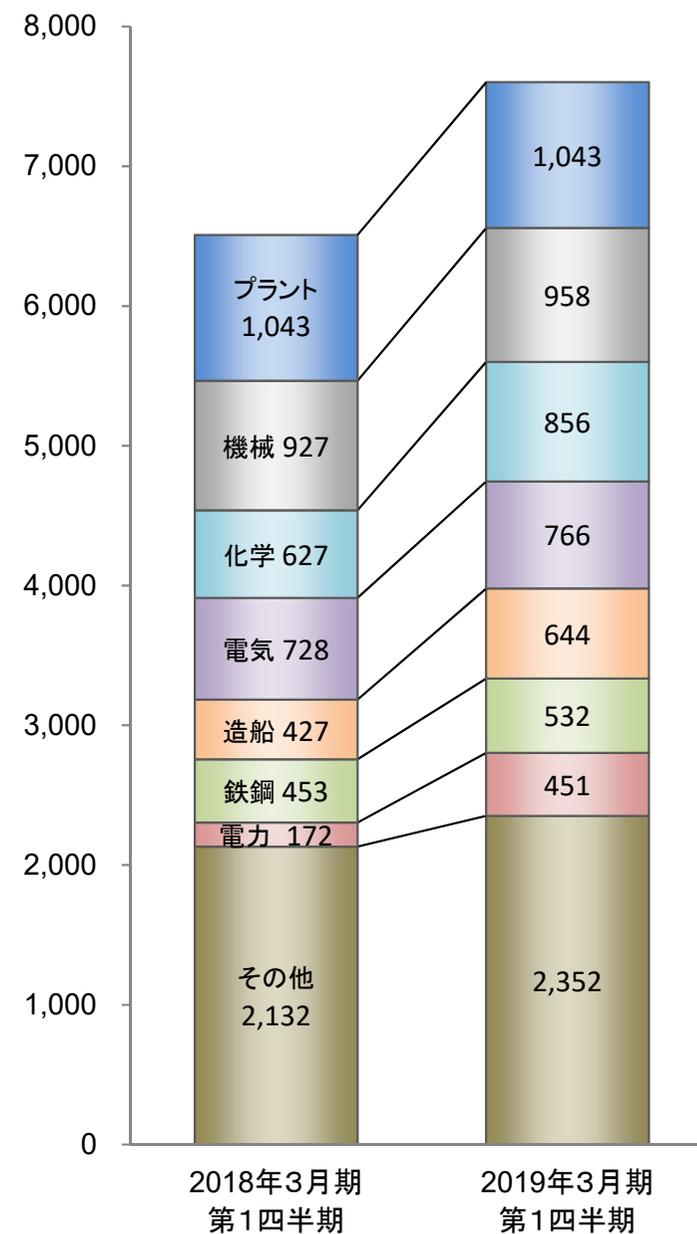
災害対策に関連する産業車両や産業機器、省エネルギー性の高い機器、定期修理を契機とする機器の更新提案を実施しました。その結果、産業車両に関しては、官公庁向けで特殊車両の受注が堅調に推移しました。また、電力会社向け災害対策設備、建設機械製造業向け油圧機器の販売、鉄鋼製品製造業や化学品製造業を中心に、各業界で老朽化した設備に付帯する機器の更新需要が堅調で、販売が増加しました。

(単位:百万円)



(単位: 百万円)	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	前年 同四半期比		構成比
プラント	1,043	1,043	△	0.0%	13.7%
機械	927	958	+	3.3%	12.6%
化学	627	856	+	36.6%	11.3%
電気	728	766	+	5.3%	10.1%
造船	427	644	+	51.0%	8.5%
鉄鋼・ 非鉄金属	453	532	+	17.5%	7.0%
電力	172	451	+	161.3%	5.9%
その他	2,132	2,352	+	10.3%	30.9%
合計	6,512	7,606	+	16.8%	100.0%

(単位: 百万円)



連結貸借対照表

■自己資本比率：3.2ポイント増加し43.1%となりました。(2018/03時点39.9%)

資産

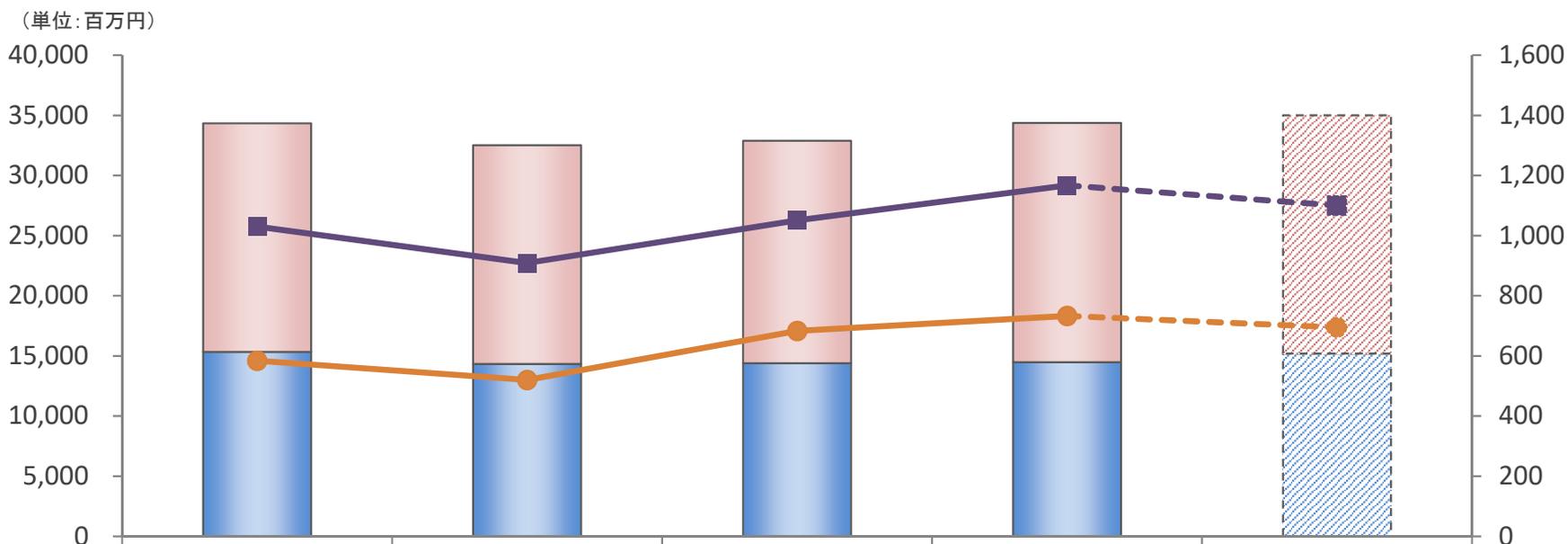
	2018/03	2018/06	増減額
流動資産	19,832	18,106	△ 1,725
現金及び預金	3,382	3,073	△ 308
受取手形及び売掛金	13,725	11,999	△ 1,725
電子記録債権	2,042	2,037	△ 5
たな卸資産	565	803	238
その他	116	192	76
固定資産	3,591	3,476	△ 115
有形固定資産	1,424	1,418	△ 5
無形固定資産	51	43	△ 8
投資その他の資産合計	2,116	2,014	△ 101
その他	2,163	2,061	△ 101
貸倒引当金	△ 47	△ 47	0
資産合計	23,424	21,583	△ 1,840

負債及び純資産

(単位:百万円)

	2018/03	2018/06	増減額
流動負債	13,465	11,576	△ 1,888
支払手形及び買掛金	6,069	4,336	△ 1,733
電子記録債務	5,457	5,828	371
1年内返済予定の長期借入金	768	629	△ 138
引当金	496	161	△ 334
その他	673	619	△ 53
固定負債	612	700	88
長期借入金	100	200	100
引当金	24	24	0
退職給付に係る負債	299	303	3
その他	188	172	△ 15
負債合計	14,077	12,276	△ 1,800
純資産	9,346	9,306	△ 40
株主資本	9,057	9,045	△ 12
その他の包括利益累計額	289	261	△ 28
その他有価証券評価差額金	169	148	△ 21
為替換算調整勘定	13	10	△ 3
その他	106	102	△ 3
負債純資産合計	23,424	21,583	△ 1,840

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(単位: 百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (見通し)
3~4Q売上高 (左軸)	19,001	18,178	18,490	19,888	19,800
1~2Q売上高 (左軸)	15,336	14,332	14,396	14,479	15,200
売上高	34,338	32,510	32,886	34,367	35,000
経常利益 (右軸)	1,030	909	1,051	1,167	1,100
親会社株主に帰属する 当期純利益 (右軸)	584	520	683	733	695

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (目標)
ROE (株主資本利益率)	7.8%	6.6%	8.2%	8.1%	8.0%

本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。